

早いもので、今年も師走となりました。今年最後の特集は「注意」の障害に対する理学療法です。

好評のため、3年目の継続が決まった1ページ講座の理学療法用語で、本年8月号(Vol37 No8, p683)に弊誌の編集委員でもある網本和先生が注意障害について解説されています。それによれば、生理学的な注意とは、「脳が環境のある一面に集中するために、外来の感覚情報をふるいにかける選択の過程」としています。注意には集中と選択の2側面があり、集中には覚醒と持続の要素があり、選択には選択と分配の要素があるとされています。本特集と併せてお読みいただくことで一層理解が深まることと存じます。

加藤先生には、「注意の概念—その機能と構造」と題して、注意の3つのコンポーネントについてご説明をいただき、注意による行動と認知の制御についてわかりやすくご解説いただきました。石合先生には、「注意の障害—その評価と介入戦略」と題して、せん妄と半側空間無視を中心に詳細なご解説をいただきました。また、結びとして、注意障害として一括りにするのではなく、対象者の個別的な状況と問題に対して具体的に取組む必要があることが強調されています。村山先生、杉原先生には、理学療法士の行う注意の障害に対する評価について、臨床経験に基づいた私見を交えて解説いただきました。お二人とも詳細な臨床観察とともに、正確な脳(局在)機能を理解することが不可欠であることを指摘されています。宮嶋先生、落合先生、小林先生には、理学療法介入の実際について症例を交えて具体的な試みと効果についてご紹介いただきました。それぞれ現場での苦悩と工夫が臨場感をもって伝わってくる内容です。今日からの臨床実践に役立つものと思います。

学問の進歩は可能性の拡がりとも言えます。かつて、半側無視は回復や治療の阻害因子として位置づけられていた時期もありましたが、現在では、注意障害そのものが理学療法の積極的な介入対象になっています。科学や学問の進歩が、このように目に見える形で対象者に益することができれば、医療者にとってこれに優る幸せはありません。

入門講座は、活動向上に生かす動作分析の6回目で、変形性膝関節症患者が取り上げられています。講座は行動分析学的アプローチの3回目で、理学療法教育との関係で解説されています。1ページ講座の理学療法用語は、覚醒水準です。

とびらでは、前田貴司先生が「会話の中に」と題して言葉の乱れについての思いを綴られています。「言葉は思考の乗り物」であり、表現や用語には意味に加えてそこから連想される範疇や価値を附加する性質をもっています。同じ内容だからといっても、ポジティブな思いがネガティブに伝わったのでは本末転倒です。また、理学療法士には言葉とともに表情も大切な要素だと思っています。顔色をうかがいながら相手の心情を察して先輩や対象者と話をしている自分から、逆にこちらの表情を観ながら話をしてくる学生や後輩の存在に気づかれ、せめて顔色のよい姿で接したいと思うこの頃です。

今年もお世話になりました。平成16年もよい年でありますように…。 (内山 靖)

理学療法ジャーナル

(第37巻 第12号)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

2003年12月15日発行(毎月1回15日発行) ☎ 113-8719 東京都文京区本郷5-24-3
電話 本誌編集室直通(03)3817-5703
(担当:平岡・山崎)

定価(本体1,700円+税)

〔2003年年ぎめ予約購読料 20,880円〕
(配送料弊社負担)

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎(03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2003, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・ JICLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

●編集顧問●

上 田 敏
五 味 重 春
津 山 直 一
福 屋 靖 子
横 山 巖

(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
安 藤 徳 彦
内 山 弥 生
大 橋 正 明
高 橋 隆 正
鶴 見 隆 正
奈 良 勲
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 橋 光 二
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 橋 ゆかり
大 峯 三 郎
岡 本 哲 夫
岡 本 慎 哉
菊 地 延 子
木 山 喬 博
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐々木 伸 一
佐 藤 秀 一
澤 田 三津子
高 口 光 子
高 田 京 子
寺 山 久美子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 尾 哲 男
長 澤 弘
永 富 史 子
中 村 春 基
橋 元 隆
濱 出 茂 治
備 酒 伸 彦
福 田 恵美子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
宮 本 省 三
諸 橋 勇